

子ども総合科学館 展示内容と学習内容の対応一覧(1F 宇宙ゾーン)

	番号	展示名称	学習・体験できること	学年と単元
宇宙ゾーン	A-01	スペースシアター	栃木県から宇宙の大規模構造までさまざまなスケールで宇宙の構造を眺める映像と、太陽系の天体を観察する映像を、円形のシアターで体験する。	6年:月と太陽
	A-02	太陽と太陽系を構成する天体	太陽と太陽系の構成、各惑星の情報をグラフィックで学ぶ。	中学:太陽系と恒星
	A-03	宇宙を見る目	宇宙観測技術の歴史と、それにより明らかになった宇宙の姿を映像とグラフィックで学ぶ。	4年:月と星 6年:月と太陽
	A-04	隕石ギャラリー	隕石の実物を観察し、隕石の成り立ちや起源について理解を深める。	中学:太陽系と恒星
	A-05	恒星の一生	恒星の一生の中での変化、星の明るさの違いをグラフィックで観察する。	3年:太陽と地面の様子 6年:月と太陽
	A-06	グラビティジャンプ	ライド型の装置に乗ってジャンプを繰り返し、月、火星、冥王星の重力の変化を体験する。天体の変化に追いつき、各天体の特徴を映像で見ることが出来る。	4年:月と星 6年:月と太陽
	A-07	宇宙体重計	体重計に乗り、惑星や衛星のスイッチを押すと表示される値が変わる。同じ物体でも天体によって、重さが変わることを体験する。	6年:月と太陽
	A-08	重力レンズ	穴を覗き込み、重力レンズ効果による像の見え方の違いを観察する。	中学:太陽系と恒星
	A-09	スイングバイ	ゴール(穴)をめがけてボールを転がす。ボールの動きをよく観察すると、穴の近くで速くなったり、軌道が曲げられたりする様子が分かる。	中学:太陽系と恒星
	A-10	遠い星・近い星	星座を構成する星々の距離の違いについて、装置で体験する。	4年:月と星
	A-11	月と地球	地球、月、太陽の位置関係を表す模型をダイヤルで操作する。モニターで月の形・海の高さの変化を観察し、月の満ち欠けと潮の満ち引きのメカニズムを体験する。	4年:月と星 6年:月と太陽
	A-12	内惑星・外惑星	内惑星・外惑星の位置関係と動きについて映像で学ぶとともに、地球から肉眼で見える5つの星(水星・金星・火星・木星・土星)の観察のポイントを紹介する。	中学:太陽系と恒星
	A-13	影と太陽	太陽の動きや、時間の経過とともに変化する影の様子を学ぶ。	3年:太陽と地面の様子
	A-14	天動説・地動説	装置のボタンを押し、「天動説」と「地動説」とで天体の動きの違いを観察する。	6年:月と太陽
	A-15	月探査	月面探査車に乗るシミュレーションゲームを体験し、月探査の目的を学ぶ。	4年:月と星 6年:月と太陽
	A-16	宇宙開発	人類による宇宙開発のこれまでの実績や最新の取り組みについて、グラフィックと映像で学ぶ。	4年:月と星 6年:月と太陽
	A-17	サテライトルーム	人工衛星の種類や目的をグラフィックで学ぶ。役割を終えた人工衛星などを原因とする宇宙環境問題にも焦点を当て、「スペースデブリ」を除去するゲームを体験する。	6年:月と太陽
	A-18	宇宙ラウンジ	情報掲示板と休憩スペース	

展示品についての詳しい説明や写真は、下記のURLまたは、右のQRコードから解説サイトをご覧ください。

<https://t-csm.pref.tochigi.lg.jp/>

